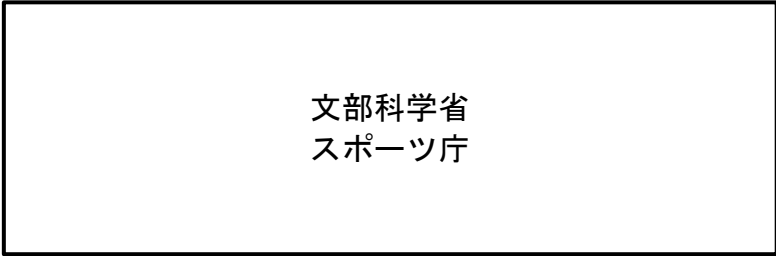


	令和5年度セグメントシート										(日本スポーツ振興センター)	
セグメント名	災害共済給付及び学校安全支援事業						担当部局庁	総合教育政策局			作成責任者	
事業開始年度	平成15年度		事業終了 (予定)年度	終了予定なし		担当課室	男女共同参画共生社会学習・安全課			課長 安里 賀奈子		
会計区分	一般会計											
セグメント単位の考え方	財務諸表のとおり											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 独立行政法人日本スポーツ振興センター法第15条						関係する 計画、通知等	学校安全の推進に関する計画(平成24年4月27日閣議決定) 第2次学校安全の推進に関する計画(平成29年3月24日策定) 第3次学校安全の推進に関する計画(令和4年3月25日策定)				
							主要経費	教育振興助成費				
事業の目的 (5行程度以内)	独立行政法人日本スポーツ振興センター法第3条の目的を達成するため、学校の管理下における児童生徒等の災害につき、当該児童生徒等の保護者又は当該児童生徒等のうち成人若しくは学生が成年に達している場合にあっては当該生徒若しくは学生その他政令で定める者に対し、災害共済給付を行う。また、学校安全支援について、災害共済給付業務から得られた事故情報を学校関係者へ分かりやすく提供を行うとともに、関係団体との新たな連携・協力の下、学校現場における事故防止の取組を支援する。											
現状・課題 (5行程度以内)	学校の管理下における児童生徒等の災害に対して、災害共済給付(医療費、障害見舞金または死亡見舞金の支給)を行っており、また、給付実績から得られる事故情報を活用し、事例・統計データの整理、分析及び調査・研究を行い、その成果を学校関係者等に分かりやすく提供することにより、学校等における事故防止の取組を支援している。災害共済給付事業においては、公正かつ適切な給付事務を着実に実施しつつ、加入の促進、利用者の利便性の向上、迅速な給付、業務運営の効率化等の改善に取り組み、社会情勢に対応した給付を行うとともに、給付実績から得られた事故情報を学校等における事故防止のための対策に活用できるよう整理・分析した上で、その成果を学校関係者等まで行き渡るように工夫するほか、災害共済給付事業全体の更なる質の向上のため、関係団体等との新たな連携・協力関係を構築する。											
事業概要 (5行程度以内)	義務教育諸学校、高等学校、高等専門学校、幼保連携型認定こども園及び保育所等の管理下における児童生徒等の負傷、疾病、障害又は死亡に対しての災害共済給付に係る業務、学校等の設置者に損害賠償責任が発生した場合の災害共済給付の価額を限度とした免責の特約に係る業務及び災害共済給付から得られた災害事例の収集、整理、分析及び提供に関する業務を行う。											
事業概要URL												
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求				
	経常 収益	予算 額	当初予算:運営費交付金(A)	1,178	1,224	1,219	964	-				
			補正予算:運営費交付金(B)				-	-				
							-					
							-					
							-					
							-					
		執行 額	運営費交付金(C)	1,081	1,075	1,049						
			補助金等(D)	-	-	-						
			その他(E)	777	635	690						
			計(F) =(C)+(D)+(E)	1,858	1,710	1,739						
		運営費交付金収益の割合 =(C)/(F)	58.2%	62.9%	60.3%							
		運営費交付金収益化基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準						
	経常 費用		予算額(G)	2,038	1,950	1,984	1,178					
			執行額(H)	1,814	1,644	1,684						
			執行率(I) =(G)/(H)	89%	84%	85%						
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)						
	(項)		独立行政法人日本スポーツ振興センター運営費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
		(目)	独立行政法人日本スポーツ振興センター運営費交付金に必要な経費	964								
			その他	▲ 964								
	計(A)			964	-							

活動内容① (アクティビティ)		日本スポーツ振興センターが、児童生徒等の健康の保持増進を図るため、学校の管理下における児童生徒等の災害に関する必要な給付その他スポーツ及び児童生徒等の健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供等を行い、もって国民の心身の健全な発達に寄与する。									
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		学校の管理下における児童生徒等の災害に、災害給付を行う。	災害共済給付件数	活動実績	件	1,497,250	1,665,427	1,577,142	-	-	
				当初見込み	-	-	-	-	-		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	公正かつ適切な給付事務を着実に実施するとともに、迅速な給付、業務運営の効率化等の改善に取り組み、学校等の現場の事務負担軽減を図る必要があることから、災害共済給付の請求における差戻し件数を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
		請求における差戻し件数について、令和3年度における水準(約7万件)を維持する。	災害共済給付の請求における差戻し件数。	成果実績	件	66,530	69,094	68,607	-		
				目標値	件	-	-	69,024	69,024		
				達成度	%	-	-	99.4	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本スポーツ振興センターの各年度における業務実績報告書									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	差戻し件数の水準を目標値で維持するとともに、学校等の現場の事務負担軽減を実現することで、給付対象者への制度理解促進や制度の満足度向上に資すると考えられることから、制度の満足度を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		第5期中期目標期間の最終年度において、制度の満足度について60%以上の高評価を得る。	制度の満足度	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	60		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本スポーツ振興センターの各年度における業務実績報告書									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		災害共済給付及び学校安全支援事業による国民の心身の健全な発達に寄与については、数値化して図ることは困難なため。									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		
独法所管部局による点検・改善										
点検結果	短期・長期とも測定指標は順調に推移している。						目標年度における効果測定に関する評価(令和10年度)			
							-			
改善の 方向性	目標年度に向け引き続き取り組む。									
備考										
-										

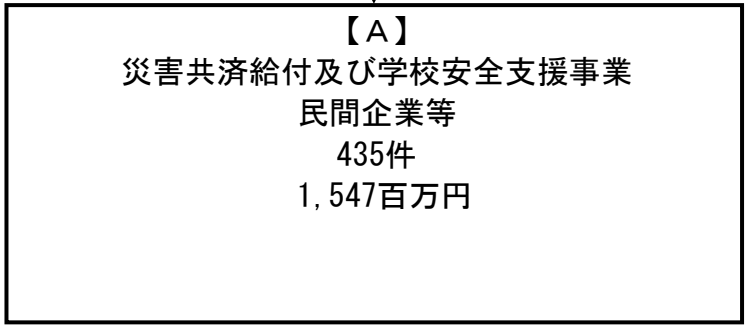
※令和4年度実績を記入。



【運営費交付金交付】



【一般競争契約（総合評価）等】



※運営費交付金が投入されている「一般勘定」のみを対象としている。

学校教育の円滑な実施に資するため、学校の管理下における児童生徒等の災害に対して災害共済給付を行うとともに、給付業務から得られた事例を収集・分析し、学校関係者等に広く提供することで、学校事故防止策の普及等を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

